

今年の21世紀枠出場校に学ぶ

事務局長 森 利克

3月21日に開幕する今年の選抜大会には校史、球史ともに水戸一高に近い県立の進学校2校、すなわち愛媛県立松山東高校と和歌山県立桐蔭高校が21世紀枠で出場する。特に松山東は実に82年ぶりの出場となる。球児たちの本来の目標は全国選手権県大会で優勝するか秋季地区大会でベスト4以上の実績を残して一般枠で甲子園出場することであるが、ともに文武両立を目指し、同じような環境と条件にある両校がなぜ今回選考されたかを知ることは我々の飛躍の糧になるはずである。

そこで、3校の学校及び応援ホームページ、新聞記事、各県の高野連及び高校野球に関する数種のウェブサイトなどから各校の歴史、高校野球界への貢献内容、支援体制、練習環境、ここ5年間の公式戦結果などを調査比較(表1)し、選考基準(表2)とこれまでの21世紀枠出場校(表3)をもとに参考にすべき点をまとめてみた。最も効果的な調査は学校及び支援組織を直接訪問して“飛躍のキッカケは何だったか”、“それをどう太く、強くして行ったか”を探ることですが、2校は選抜に向けて準備に忙しい時期にありますので、後日別ルートから情報収集に努めるつもりです。

この記事に関して会員及び関係者の皆様それぞれに受け止め方は異なるかも知れません。しかし大きな目標は同じはずです。夏本番に向けて4月の春季大会が飛躍の契機になるよう、一人一人が一つでも具体的な行動をとっていただければ、それが選手諸君に伝わり、大きな潮流となると信じています。

1. 学校及び野球部の歴史

3校ともほぼ同じで学校創立は明治10年代初頭、創部は明治中期である。

2. 甲子園・全国大会実績

3校ともに甲子園出場は2回以上あるが、桐蔭高校が圧倒的な実績を残している。同校は第一回大会から春夏合わせて35回出場しており、この辺が今回の選考過程で高校野球100周年に相応しい貢献として評

価された。意外に知られていないのは、昭和30年前後の学生野球結成記念大会における水戸一高の活躍である。

3. 支援体制

いずれもOB会、後援会、父母の会は整っているようであるが、桐蔭高校の正式な名称は不明(調査範囲で情報なし)である。今回の出場に向けて当然ながら同窓会を中心とした臨時支援体制が組織され、毎日のように活動している。嬉しい悲鳴である。

4. 練習施設環境

グラウンドは他部との共用であり、環境は3校ともほぼ同じであるが、松山東には専用のマイクロバス、桐蔭には観戦スタンドがある。

5. 過去5年間の公式戦結果

松山東は平成23年秋に準々決勝進出した以外は地区予選敗退が続いていたが、平成26年夏の3回戦で強豪今治西に1-0で競り勝ったことが飛躍のキッカケになったと思われ、その後決勝まで進出した。次の秋季大会でもその勢いは続き、県大会準々決勝で夏決勝で惜敗した小松に4-3で競り勝ち、準決勝でも1点差勝利し、四国大会出場を決定した。

桐蔭は平成22年夏に準決勝、平成23年夏に準々決勝、秋季も近畿大会出場を決める三位決定戦、平成24年夏も準決勝へ進出していたが、平成25年から26年夏まで低迷し、その後の新人戦で準決勝へ進出した程度である。しかし秋の県大会一回戦で近畿大会ベスト8となった箕島に5-7で惜敗したことが選考で一つの評価材料となった。常に一つでも競り勝つ精神力を付けることが大事である。

6. まとめ(飛躍に向けて)

①前季に県大会出場できなかったとしても、その敗



因を他人事とせず、突き詰め、全員一丸となって修正すればチーム力は飛躍的に向上し、次季に上位進出できる。特に競り勝つ精神力が大事である。松山東はそれを証明してくれた。我々にできないはずはない。

②21世紀枠の地区推薦9校（関東・東京枠1）に残るにはできれば県大会ベスト4が必要であるが、こ

れだけが評価の対象ではない。

③これまでの21世紀枠出場校の選考理由の殆んどは水戸一高に十分該当する。これまで通り真摯に続けていけば必ずチャンスは到来する。自信と誇りを持って大会に臨もう。

表1 水戸一高と平成27年選抜大会21世紀枠出場校との比較

			水戸一	松山東	桐蔭
創立			明治11年(1878)	明治11年(1878)	明治12年(1879)
創部			明治24年(1891)	明治25年(1892)	明治30年(1897)
甲子園 単独出場	全国大会		3回(昭和4,5,29年)	1回(昭和8年)	20回(優勝2,準優勝3)
	選抜大会		—	1回(昭和8年)	15回(優勝1,準優勝1)
他全国大会実績			学生野球協会結成 記念大会3回 (昭和28年ベスト4, 30年ベスト8, 32年優勝)	(陸上・ボート・美術・演劇・ 放送・囲碁将棋・俳句)	(陸上・科学・ESS)
球界著名人			飛田穂洲 石井連蔵 玉造陽二	正岡子規(創部祖)	井口新次郎 小川正太郎 西本幸雄
同窓会組織			知道会	同窓会	和中・桐蔭同窓会
野球部OB会組織			水府倶楽部	明教倶楽部	(OB会)
野球部後援会組織			三の丸倶楽部	野球部後援会	
練習時間			～20:00(除月曜日)	朝(7:00-8:00)/～19:10	～19:00/20:30(3～11月)
グラウンド・練習環境			共用、ブルベン	共用、整骨師、専用マイクロバス	共用、スタッドあり
平成22年	春季	地区	2- 1波崎	—	—
			1- 0鹿島学園	—	—
		県	2- 5下妻一	0- 3東温	2- 1近大新宮
			—	—	4- 3初芝橋本
	全国	県	—	0- 3伊予	10- 0和歌山高専
			4- 3明野	—	7- 0新宮
			3- 12波崎柳川	—	3- 2初芝橋本
		—	—	—	4- 1粉河(準々決勝)
			—	—	2- 6向陽(準決勝)
			—	—	—
秋季	地区	5-6 茨城	2- 3松山工	1- 3田辺工	
	県	—	—	—	
平成23年	春季	地区	0- 1緑岡	—	—
		県	—	8- 3松山商(代決戦)	1- 2蓑島
	全国	県	—	2- 6帝京第五	—
			10- 0友部	2- 7川之石	—
			0- 10常総学院	—	8- 2慶風
			—	—	4- 2初芝橋本
	秋季	地区	—	—	2- 5市和歌山(準々決勝)
			2- 5水戸工	11- 3松山中央	—
		県	—	6- 5伊予(代決戦)	—
			—	10- 2北宇和	2- 1粉河(準々決勝)
—			4- 8宇和島東(準々決勝)	1- 6海南(準決勝)	
—			—	3- 10智弁和歌山(三決戦)	
平成24年	春季	地区	4- 3常磐大高	7- 11松山商(代決戦)	5- 3紀北農芸
		県	0- 11鹿島学園	—	1- 3那賀
	全国	県	—	—	—
			8- 9日立工	3- 4今治西	—
			—	—	2- 0紀央館
			—	—	6- 3串本古座
		—	—	—	3- 2日高(準々決勝)
			—	—	1- 8智弁和歌山(準決勝)
	秋季	地区	2- 4水戸商	0- 3済美(代決戦)	—
		県	—	—	—
			—	—	1- 2和歌山東

			水戸一	松山東	桐 蔭	
平成25年	春季	地区	3- 6常磐大高	—	—	
			—	7- 3松山北	—	
		県	—	6- 1松山西(代決戦)	—	
			—	—	—	
	全国	県	—	3- 1今治工	6- 2和歌山東	
			—	0- 2丹原(準々決勝)	5- 9伊都	
	秋季	地区	2- 4境	2- 1新田(一回戦)	0- 2南部龍神	
			—	5- 6宇和島南(二回戦)	—	
県		9- 0茨城東	7- 0松山西	—		
		5- 7鉾田一	1- 0松山南(代決戦)	0- 6箕島		
平成26年	春季	地区	10- 0茨城東	10- 3松山中央	—	
			4- 6鉾田一	5- 7新田(代決戦)	6-11市和歌山	
		全国	県	4- 2鉾田二	7- 0川之石	—
				1- 2つくば国際	7- 0松山西	1- 4智弁和歌山
	秋季	地区	—	1- 0今治西	—	
			—	10- 2南宇和島(準々決勝)	—	
		県	—	3- 2東温(準決勝)	—	
			—	1-10小松(決勝)	—	
新チーム	部員数(2年/1年) マネージャー	26(16/10)4	31(9/22)3	19(7/12)4		
平成26年	新人戦 (ジュニア大会)		5-10水戸啓明	6- 7松山工	—	
			14- 0茨城東(敗復戦)	—	3- 1南部	
			6- 4常磐大高	—	10- 0串本古座	
			—	—	5- 4笠田(準々決勝)	
	秋季	地区		—	—	0- 5初芝橋本(準決勝)
				16- 0鉾田二	7- 1東温	—
		県		1- 7鹿島学園	7- 2松山中央(代決戦)	—
				—	7- 6松山北	5- 7箕島(近畿大会ベスト8ながら補欠校)
				—	4- 3小松(準々決勝)	—
				—	3- 2新田(準決勝)	—
四国		—	0- 5今治西(決勝)	—		
		—	2- 5鳴門(一回戦)	—		
入学募集定員			320名	360名	280名	
平成26年大学合格者数計 (内現役)	国立大		225(143)	275(202)	165(131)	
	東大		19(15)	4(1)	1(1)	
	京大		3(2)	6(3)	7(5)	
	私立大		754(361)	675(404)	297(227)	
	早稲田		81(35)	27(11)	8(7)	
	慶応		25(9)	11(3)	9(5)	

表2 選抜大会出場校選考基準 (茨城県該当内容のみ)

種 類	一次選考 (県推薦基準)	二次選考 (9地区)	最 終 選 考	
			最大可能枠数	評 価 内 容 ・ 条 件
一般枠	—	—	3校(秋季関東大会 茨城県開催の場合)	・秋季関東大会成績(基本は4強以上) ・試合内容(県・地区・新人戦、他)
神宮大会枠	—	—	1校	・明治神宮大会*で関東代表が優勝した場合
21世紀枠	秋季県大会 16強以上	関東・東京 1校	1校 (東日本or全地区)	・困難克服(部員不足、天災、施設など) ・他校の模範(学業、ボランティア、他) ・難航した場合は「春夏(30年以上) 出場からより遠ざかっている学校」

*各地区秋季大会優勝校参加



表3 選抜大会 21世紀枠出場県立進学校 (「Wikipedia」、「高校野球」ツットコム記事より抽出)

開催年	出場校	秋季大会実績	選考理由
平成13年	安積(福島)		・創部創立とも県最古 ・質実剛健で考える野球
平成14年	松江北(島根)	県大会決勝2-17浜田 中国大会1回戦0-7岡山理大附	・県内屈指の進学校
平成16年	一関一(岩手)	県大会決勝0-1盛岡大附 東北大会準決勝0-12東北	〃
平成17年	高松(香川)	県大会決勝4-8高松商 四国大会1回戦0-8済美	〃
平成18年	金沢桜丘(石川)	北信越大会準決勝2-5高岡商	・県内有数の進学校
平成19年	都城泉ヶ丘(宮崎)	県大会決勝5-0宮崎商 九州大会準々決勝0-7鹿児島商	・県内有数の進学校 ・狭いグラウンドで練習工夫
平成20年	安房(千葉)	県大会決勝4-10千葉経大附 関東大会1回戦0-1霞ヶ浦	・創立100年進学校 ・地元中学球児でチーム構成
	成章(愛知)	県大会準決勝2-4愛工大名電 県代表決定戦1-3中京大中京	・創部100年県立進学校 ・強豪私立校と接戦
平成21年	彦根東(滋賀)	県大会決勝2-3近江 近畿大会1回戦4-6東洋大姫路	・変形グラウンドで練習工夫
	大分上野丘(大分)	県大会決勝2-5明豊 九州大会2回戦2-3神村学園	・県内随一の進学校 ・放課後練習2時間で九州大会出場
平成23年	大館鳳鳴(秋田)	県大会決勝4-0横手城南 東北大会2回戦3-4青森山田	・1898年創立の進学校 ・部員全員地元出身
	城南(徳島)	県大会決勝13-2徳島商 四国大会6-7香川西	・創立創部とも県内最古の進学校 ・部員全員近隣中学出身 ・生徒会活動に積極参加
平成26年	小山台(東京)	都大会準々決勝3-5東海大高輪	・都立進学校 ・限られた練習時間と狭いグラウンド ・秋季都大会で私立強豪破り8強
平成27年	松山東(愛媛)	県大会決勝0-5今治西 四国大会1回戦2-5鳴門	・県内最古の伝統校で文武両道実践 ・史上最長ブランク(82年ぶり)
	桐蔭(和歌山)	県2次予選1回戦5-7箕島	・春夏3回優勝の古豪 ・高校野球100年節目で草創期から貢献

そうだったのね！ お久しぶり甲子園出場校

センバツの話題は松山東 82 年ぶり、桐蔭 53 年ぶりの古豪復活出場。今年、水戸一が第 97 回夏の甲子園に出場となれば、『61 年ぶりの復活出場』の文字が新聞を賑わすはずです。

おひさしぶり甲子園出場校ランキング

【センバツ】

記録	現校名	出場記録
1 82年ぶり	松山東(愛媛)	松山中(第10回・昭8) → 松山東(第87回・平27) ☆
2 72年ぶり	高松(香川)	高松中(第10回・昭8) → 高松(第77回・平17) ☆
3 70年ぶり	和歌山商(和歌山)	和歌山中(第14回・昭12) → 和歌山商(第79回・平19)
4 69年ぶり	関大一(大阪)	関西甲種商(第6回・昭4) → 関大一(第70回・平10)
5 68年ぶり	長野商(長野)	長野商(第9回・昭7) → 長野商(第72回・平12)
6 63年ぶり	関西学院(兵庫)	関西学院中(第12回・昭10) → 関西学院(第70回・平10)
7 60年ぶり	大分上野丘(大分)	大分一(第21回・昭24) → 大分上野丘(第81回・平21) ☆
8 57年ぶり	鳥取西(鳥取)	鳥取一中(第10回・昭8) → 鳥取西(第62回・平2)
57年ぶり	島田商(静岡)	島田商(第18回・昭16) → 島田商(第70回・平10)
10 56年ぶり	松山北(愛媛)	北予中(第8回・昭6) → 松山北(第59回・昭62)
56年ぶり	彦根東(滋賀)	彦根東(第25回・昭28) → 彦根東(第81回・平21) ☆

☆は21世紀枠による出場

【選手権】

記録	現校名	出場記録
1 70年ぶり	関西学院(兵庫)	関西学院中(第25回・昭14) → 関西学院(第91回・平21)
61年ぶり	水戸一(茨城)	水戸一(第36回・昭29) → 水戸一(第97回・平27)
2 61年ぶり	札幌南(北海道)	札幌一中(第25回・昭14) → 札幌南(第82回・平12)
3 57年ぶり	東山(京都)	東山中(第12回・大15) → 東山(第65回・昭58)
57年ぶり	前橋商(群馬)	前橋商(第15回・昭4) → 前橋商(第68回・昭61)
5 56年ぶり	長岡(新潟)	長岡中(第7回・大10) → 長岡(第59回・昭52)
6 54年ぶり	鳥羽(京都)	京都二中(第28回・昭21) → 鳥羽(第82回・平12)
7 52年ぶり	宮崎工(宮崎)	大淀(第42回・昭35) → 宮崎工(第94回・平24)
8 47年ぶり	久留米商(福岡)	久留米商(第1回・大4) → 久留米商(第44回・昭37)
9 46年ぶり	横浜商(神奈川)	横浜商(第19回・昭8) → 横浜商(第61回・昭54)
46年ぶり	慶応(神奈川)	慶応(第44回・昭37) → 慶応(第90回・平20)

平成26年度後半活動報告

- (1) 今年度後半では、例年実施してきた野球部支援（試合球提供）、会報発行（本14号）、試合応援、広報活動（会員募集）以外に、ホームページの更新に注力しました。
- (2) 野球部支援の一環として、試合球15ダースを提供し、コーチ謝礼の一部を負担しました。
- (3) 本会報では内容を少し変え、甲子園への意識が強かつ太くなることを期待して「今年の21世紀卒出場校に学ぶ」を掲げてみました。会員の皆様のご意見、具体的活動のご提案をお待ちしています。
- (4) 秋季大会では、会員の皆様の応援も空しく、またしても県大会出場を逃しました。夏の茨城大会も含めて、僅差の試合に競り勝ってはじめて本当の力が付いたと言えるのではないのでしょうか。
- (5) 新規会員募集に係る広報活動として、夏に引退した三年生部員の父母会会員の皆様、県内外の経済界でご活躍の知道会会員、退職校長会の皆様へ入会案内しました。その結果約10名の方々に入会いただきましたので、現会員数は約210名となりました。
- (6) これまで一般公開してきましたホームペー

ジの内容の内容、特に試合予定と詳細な結果の公開についてはさまざまなご意見が寄せられていましたので、それらを勘案して構成から見直し、元日から公開しました。

- 試合予定と結果（詳報）の閲覧にはユーザーIDとパスワードが必要となりました。会員の皆様には昨年末にそれらをお知らせしました。なお、旧ホームページの作成には知道会及び水府倶楽部会員である平成二年卒の堀江崇之氏にご尽力いただきました。また、今回の更新にあたっては知道会会員の瀬川崇幸氏に多大なるご協力をいただきました。両氏に改めて御礼申し上げます。

- (7) 上記活動は3回の幹事会で審議、決定しました。なお、今年度の総会を下記の予定で開催することに決定しましたのでよろしくお願い致します。正式な開催案内と審議いただく活動報告は5月上旬までにお届けします。

開催日時：平成27年6月14日（日）
11：00～12：30
場 所：知道会館（水戸一高内）

訃報

海野 士郎 会員



昨年の9月まで、公式戦はもちろん多くの練習試合に遠路市川市から応援に駆け付けていただいていた海野士郎氏（昭和24年卒）が昨年12月1日に86歳でご逝去されました。

三の丸倶楽部の応援帽子を被り、80歳過ぎまで参加していた「市川ライオンズ」のユニホームを着て旅立たれたそうです。

会報第十号では「傘寿を超えて70年の想い」と題して戦後の苦難の時代と野球部の活躍を紹介いただきました。お会いするたびにお聞きした「甲子園でまた校歌を歌いたいね！」とのお言葉にとうとうお応えできず心が痛みます。

これからは甲子園の空から応援いただけるよう、三の丸倶楽部はさらに精進してまいります。ありがとうございました。

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

三の丸倶楽部

顧問：稲葉節生（S38年卒 元茨城県教育長）

会長：鬼澤邦夫（S38年卒 常陽銀行会長）

副会長：—

事務局長：森 利克（S38年卒）

幹事：照沼貞夫（S47年卒、H20年卒父母会）

幹事：池永充宏（H23、24年卒父母会）

幹事：田村照悟（S52年卒、H24年卒父母会）

幹事：船橋信正（S63年卒、水府倶楽部）

////////////////////
会員を募集しています。現会員の皆様には友人、知人の方の勧誘をお願いいたします。

対象：水府倶楽部（野球部OB会）及び現野球部父母会の会員以外どなたでも入会できます。

特典：会員帽子（入会時）の配付、会報（年2回）の送付など

年会費：一口 3,000円（何口でも可）

手続き：氏名、住所、TEL番号、メールアドレスを下記までご連絡ください。

連絡先：森利克 TEL/FAX 0294-53-1351

E-mail: ihm2158@ak.wakwak.com



アメリカ野球殿堂博物館

昭和29年の水戸一高野球に憧れてから約60年、野球好きは昂じるばかりで、やがて本場米国にも足を運ぶようになった。1997年にニューヨーク州のクーパースタウンにある「アメリカ野球殿堂博物館 National Baseball Hall of Fame and Museum」を2007年に、ミズーリ州カンザスシティにある「黒人野球博物館 Negro Leagues Baseball Museum (NLBM)」を訪ねた。

野球殿堂には306人(2015年2月現在)の選手、監督、審判、オーナー、記者などが殿堂入りしており、米国野球の歴史の深さを感じさせられた。一方、NLBMはその案内書に「Hall of Fame (殿堂)」ではないと断りがあり、規模と華やかさ共に野球殿堂には及ばない。黒人野球の歴史博物館なのであり、米国の社会の変遷と、言わば野球の日陰の部分の歴史を教えてくれる。

野球という素晴らしく魅力のあるゲームは、白人だけがプレイしたかったのではない。男たちは皆野球がしたかった、そう、堪らなくしたかったのだ。人種や社会的・経済的状況などとは関係なく、この愛すべき野球を……。野球殿堂にも昔の球場の有色人種(Colored)用入口のドアが展示してあり、そういう時代への認識はある。しかし、駐車場もなく、ジャズの歴史博物館と併設のNLBMには、アメリカの野球の歴史の凄さが詰まっている。かつては対戦相手の町へ移動するにも、途中黒人が利用できるレストランは無かった。目的地に着いてもホテルには泊まれない。監督が知人を頼って、こちらに2人、そちらに3人と泊めて貰って、試合をした。そんな時代の様子が分かる展示がぎっしりとある。

黒人がメジャーでプレイするようになるまでには、多くの課題の克服が必要だった。最初の大リーガー、ジャッキー・ロビンソンのことは一昨年上映された映画「42/世界を変えた男」に詳しいが、その他に能力的にも人格的にも素晴らしい選手は沢山いた。その白眉はサッチェル・ペイジ投手だろう。生涯記録(ニグロリーグ時代の推定を含む)2600登板、2100勝、300完封、55無安打得点試合。42歳でメジャーデビュー、59歳が最後の登板だった。

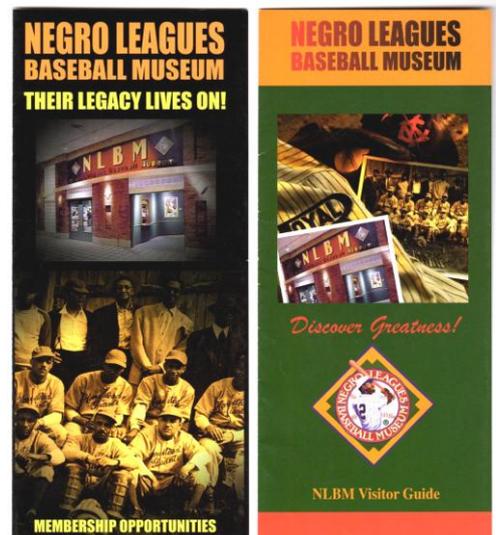
アメリカの野球史の分厚さと、全ての人々が野球を愛し、

そのプレイに情熱を燃やしたことを教えられた。展示の最初はニグロリーグの年譜があつて、

次の部屋には当時のファンの大きな写真があった。黒人の女性たちは着飾って野球場へ行ったのだと。そうなのだ、男だけではなく、女性たちも野球が大好きだった。

展示を観て、改めてこれほど人を引き付ける野球というスポーツに何か深遠なものが宿っていると強く感じた。その野球の、しかも愛してやまない母校チームの試合を観戦できる自分は幸せ者だと思うが、高校生という心身共に伸び盛りの時期に野球に打ち込める選手諸君こそ最高の幸せ者だと思う。練習に、試合に、渾身の思いで打ち込む彼らに人生の糧になるものが生まれ、将来貴重な人材として社会に貢献していくものと固く信じている。

(入魂第15号に続く)



黒人野球博物館パンフレット

新チーム発足時、「凡事一流」というチームのテーマと目標を掲げました。それから今まで、数々の試合をして、「チーム一丸となって戦うこと」の重要性を改めて感じました。「ベンチに入れない選手もグラウンドレベルで」「投手をもり立てる野手」「マネージャーも一部員」…。



そこで、この春から「個を生かしてチームで戦う」ということをチームの完成に向けたテーマとして野球をしていきます。「チームで戦う」ことを考えた時、ただチームプレーを磨くだけでは絶対に勝てないと思いました。どうすれば勝てるのかを考えたとき、やはりこのチームの「個」の力を生かすべきだと思いました。どの選手にも短所はあります。「あまりに判断が遅い」、「極端に肩が弱い」、「ひどく足が遅い」…。個人をトータルで見たとき、彼らは決して優れた選手ではありません。けれども逆に長所もあるので。「打球の飛距離がすごい」「投手のモーションを盗むことに長ける」「遠くまで通る声が出せる」…。それらを生かしてパズルのピースを当てはめるようにしていけば、隙間のないチームになります。そ

うすれば、個々の力では劣るけれども、強豪と呼ばれるチームに勝てると思います。

理想のチームになるためにも、もっと各個人が考えなければなりません、自分の「役割」を。「自分は」「この選手は」「マネージャーは」、「この試合」「この練習で」「このチームで」「この学校で」で何をしなければいけないのか。練習や練習試合、日常生活の中で試行錯誤を繰り返して「個」を磨きたいです。

最後に迷っていることがあります。それは「いままでチャンスでの決定打に欠けていたので、勝負強いバッティングができるようになるために、「試合の中」で、あるいは「練習」で「日常」で「何をどうすればいいのか」ということです。自分たちの課題として与えられたことなのですが、なかなかその答えが見つかりません。しかし、とどまっているわけにはいきません。毎日の厳しい練習を通してその答えを探します。

そして、この最後のピースを埋め、夏までにチームを完成させて、目標である「甲子園出場」を達成します。応援よろしくよろしくお願いします。



冬季基礎練習(2015.2.1)

試合結果・予定

平成26年度後半 公式戦・準公式戦結果

月	日(曜)	大会	球場	結果
9月	15日(祝)	秋季地区一回戦	水戸市民	○16-0 鉾田二
	16日(火)	秋季地区代決戦	水戸市民	●1-7 鹿島学園
11月	1日(土)	一年生	鹿島高	●7-15水戸農
	30日(日)	水商定期戦	県営	●2-3 水戸商

平成26年度後半 練習試合結果

月	日(曜)	場所	結果
8月	31日(祝)	下館一	●0-2 下館一 ○3-1 //
9月	6日(土)	佐竹	○7-0 中央 ○8-7 佐竹
	20日(土)	つくば国際	●2-10つくば国際 ●2-8石岡一
	21日(日)	下館工	●3-6下館工 ●3-4久喜北陽
	23日(祝)	鉾田一	●0-4鉾田一 ○5-1 //
	28日(日)	柏中央	○3-2柏中央 ●6-7 //
10月	13日(祝)	常総学院	●8-9常総学院 △1-1 // (4回)
		竜ヶ崎南	○9-1竜南・石岡商・潮来連合
	19日(日)	敬愛学園	○4-2検見川 ●5-14敬愛学園(7回)
11月	8日(土)	水戸農	○16-2水戸農 ○8-2 //
	9日(日)	水戸一	●0-1帝京長岡 ○2-0波崎柳川
1月	2日(金)	水戸一	△4-4水府倶楽部

平成27年度前半 (H27.3-H27.7) 試合予定 (H27.2.7現在)

月	日(曜)	大会・対戦校・会場等 (V:相手高G、H:水戸-G)
3月	8日(日)	練習試合 玉造工(V)
	15日(日)	練習試合 水海道一(V)
	22日(日)	(静岡遠征~3/23)
	26日(木)	練習試合 日立一(H)
	28日(土)	練習試合 福島県立 安積(H)
	29日(日)	練習試合 新潟県立 新津(H)
	31日(火)	練習試合 青森県立 弘前(H)
4月	5日(日)	練習試合 清真(V)
	8日(水)	春季地区大会組合せ
	11日(土)	春季地区大会(~4/14)
	18日(土)	練習試合 中央(V)
	19日(日)	練習試合 福島県立 安達(V)
	21日(火)	春季県大会抽選会
	25日(土)	春季県大会(-26, 29, 5/2, 3)
5月	5日(祝)	練習試合 栃木県立 宇都宮(V)
	6日(水)	練習試合 土浦一(V)
	16日(土)	春季関東大会(-5/20山梨県)
	30日(土)	市内大会(-6/2)
6月	6日(土)	練習試合 千葉県立 佐原(V)
	23日(火)	茨城大会抽選会
	27日(土)	練習試合 つくば国際(V)
	28日(日)	練習試合 下館工(V)
7月	4日(土)	茨城大会(-7, 10-12, 14-15, 18, 20, 22, 23)

ちょっと長い編集後記

先日、高校生の娘がハワイへ修学旅行に行ってきました。ハワイ旅行が「夢の」ハワイ旅行(アップダウンクイズか?)だった頃ならまだしも、今般の世界は緊迫しております。いわく、政治情勢、経済格差、宗教対立、得体の知れない病原菌、等々。それに加えて、我が家の場合、娘本人の塩加減が若干甘いので、親の心配も多様化重層化しています。だから、彼の国との時差なども考慮しつつスケジュールを確認し、3本のビールが2本になるほど、娘の身を案じていたのであります。✂️ところが帰ってきた娘はまったく普通で、初めての海外に興奮した様子もなく、名物のガーリックシュリンプを食べられなかったことを悔しがっております。拍子抜けとはこのことです。親の心子知らず。昔の人はうまい事をいったものです。✂️親が子供の事を心配するのは、子供がいくつになっても続くものです。ただ、その性格は年月と共に変質していくものなのでしょう。親ペンギンがヒナを脚の間に隠して寒さを防ぐような、いわば皮膚感覚で子供を守ってやれる時間は、案外少ないのかも知れません。✂️現役野球部員の父兄の皆さんにとっては、高校球児が家にいる生活は、少々しんどく、またこの先の受験などを意識した場合、不安を持たれることがあるかも知れません。✂️でも、今の時間を、お子さんと一緒に、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。きっといつか、懐かしく思い出す時が訪れるはずです。✂️さて、春です。センバツも始まります。一高野球部の皆の成長ぶりを試合で観られるのが、今から楽しみでなりません。期待しましょう。(照沼)

